

2020年度

豊田地区

地 域 計 画 書

2020年 5月

豊田まちづくり協議会

- 目次 -

I 豊田地区の概要

- 1 地域の特徴【地理・文化・行事等】
- 2 基礎データ【地区の年代別人口の推移】
- 3 地域の主な課題
 - 人口・産業
 - 交通安全
 - 災害対策

II 豊田地区の将来像

地理的環境、スポーツ・文化施設の活用

III 地域のめざす姿

- 1 地域の発展と情報が伝達できるまち(地域振興分野)
- 2 高齢者が健康で愉しく過ごせるまち(福祉環境分野)
- 3 体を動かし健康作りと地域の絆づくりをする。(体育振興分野)
- 4 安全安心な地域防災活動のできるまち(防災安全分野)
- 5 世代間を越えた交流・連携のできるまち(文化教育分野)
- 6 地域の豊かな人材を活用するまち(地域サポート部)

IV まちづくりの具体計画

1 分野別の地域計画

- (1) 活気あふれるまちづくり
- (2) 心のふれあうまちづくり
- (3) 健康あふれるまちづくり
- (4) 安全・安心のまちづくり
- (5) 生きがいあふれるまちづくり
- (6) 元気一杯のまちづくり

III 個別事業計画

- | | | | |
|--------------|---------|---------------|----------|
| (1) 個別事業実施計画 | 地域の人材育成 | 情報発信と収集 | 地域の絆を深める |
| (2) 個別事業実施計画 | 世代間交流 | 高齢者支援事業 | 挨拶運動の推進 |
| (3) 個別事業実施計画 | 体力づくり事業 | 健康づくり事業 | |
| (4) 個別事業実施計画 | 防災訓練事業 | 園児・児童・生徒の安全指導 | |
| (5) 個別事業実施計画 | 文化祭事業 | 地域の文化財の発見 | |
| (6) 個別事業実施計画 | 地域交流事業 | | |

IV 豊田住民自治協議会 設立に向けて試行

令和3年度「住民自治協議会」施行に向けての対策

2020年度 豊田まちづくり協議会 豊田地区 地域計画書

I 豊田地区の概要

1 地域の特徴

[地理]

- ① 松阪市の北部、雲出川の南岸に位置し、田畑に囲まれ、農業を中心とした地区。
- ② 豊田地区の西部には、嬉野地域振興局や、嬉野福祉センター、嬉野保健センター、生涯学習センター・嬉野図書館、ふるさと会館・体育センター・嬉野グラウンドなど、嬉野の公共施設が集中して建設さ
- ③ 川北地区には、三重県農業技術センターもあり、農業についての研究も盛んに進められている。
- ④ 川北地区には、豊田小学校・豊田幼稚園・ひかり保育園があり、教育の中心になっている。
- ⑤ 川北・須賀には古墳や城跡があり、歴史的な趣がある地域。権現前には、式内須加神社がある。

[文化]

- ① 豊田まちづくり協議会は、川原木造・新屋庄・小村・川北・須賀・沢団地・嬉野・権現前の8自治会で構成されている。
- ② 地域の活動は、公民館・自治会・各種団体で構成され、
 - ・地域振興部「活気あふれるまちづくり」
 - ・福祉環境部「心のふれあうまちづくり」
 - ・体育振興部「健康あふれるまちづくり」
 - ・防災安全部「安心・安全のまちづくり」
 - ・文化教育部「生きがいあふれるまちづくり」を中心に、「伝統文化で集う仲間が主体の地域づくり」を掲げ、あらゆる年代層が参加・参画でき、共感し合える行事を実施している。
- ③ 人と人とのつながりを大切にし、思いやりの心を育て地域が一つにまとまり、行動できることをめざして活動している。

[行事]

- ① 地域振興部「活気あふれるまちづくり」をめざして毎年8月「山の日」に、豊田小学校運動場で、豊田夏祭りを実施している。
豊田まちづくり協議会会報「くすのき通信」を年4回、発行予定。
- ② 福祉環境部「心のふれあうまちづくり」 毎年11月第3土曜日に、三世代交流事業として松阪市嬉野グラウンドでグラウンドゴルフ大会を実施していたが、平成29年度より10月実施に変更した。
また、9月第2日曜日には、敬老事業を計画している。
- ③ 体育振興部「健康あふれるまちづくり」毎年9月第3土曜日には、豊田小学校で地区民運動会を実施しており、平成27年度から豊田小学校と共催で「豊田小・地区民運動会」を実施した。
2020年度においても豊田小学校と合同で実施する。
- ④ 防災安全部「安心・安全のまちづくり」では、今年度2月第1日曜日に、豊田公民館で豊田地区避難

所運営訓練クロスチェックを実施した。

- ⑤ 文化教育部「生きがいあふれるまちづくり」毎年11月第1日曜日には、豊田公民館で豊田地区文化祭を実施している。

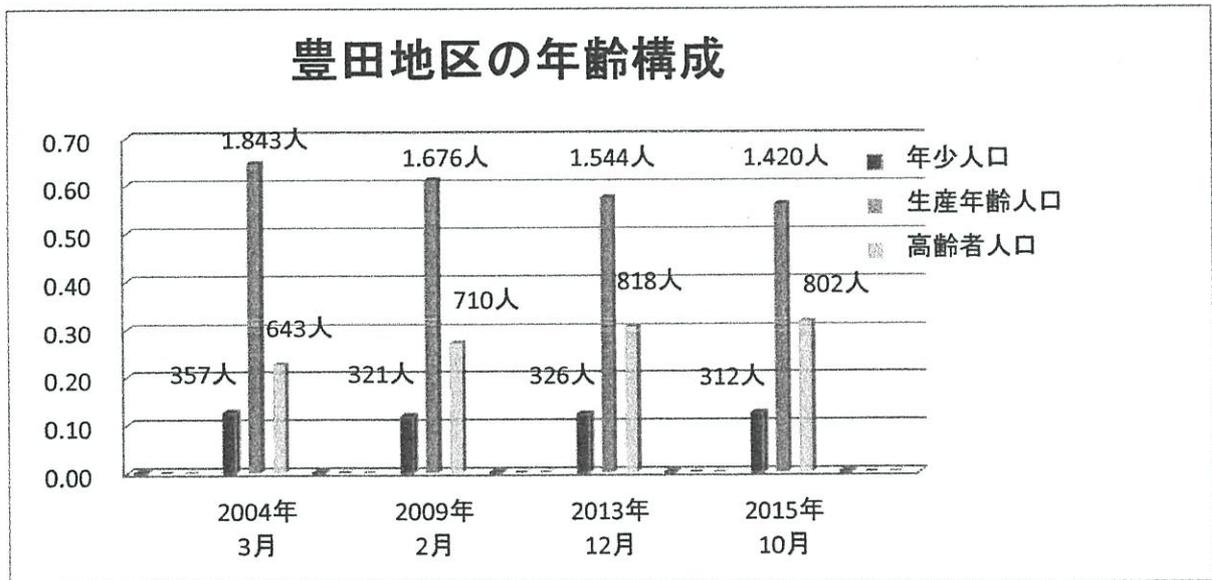
2 基礎データ【地区の年代別人口の推移】

(表-1)

	豊田地区の人口	年少人口 【14歳以下】	生産年齢人口 【15歳～64歳】	高齢者人口 【65歳以上】
2004年3月	2, 8 4 3 人	12.6% 3 5 7 人	64.8% 1, 8 4 3 人	22.6% 6 4 3 人
2009年2月	2, 7 3 7 人	11.7% 3 2 1 人	61.2% 1, 6 7 6 人	27.1% 7 1 0 人
2013年12月	2, 6 8 8 人	12.1% 3 2 6 人	57.4% 1, 5 4 4 人	30.5% 8 1 8 人
2015年10月	2, 5 3 4 人	12.3% 3 1 2 人	56.0% 1, 4 2 0 人	31.6% 8 0 2 人

(2015年10月1日現在)

(総務省統計局 平成27年国勢調査結果より)



3 地域の主な課題

(1)人口・産業

- ①基礎データ(表-1)より、平成16年から11年間で人口が300人減少。14歳以下の年少人口は45人、15～64歳の生産年齢人口は420人減少しているが65歳以上の高齢者人口は160人増加しており、一段と高齢化が進んでいる。
- ②農業中心の地区であるが農業の後継者が少なく、農業の委託生産が急増している。
- ③農家の若者が仕事の都合上、他市にアパートを借りたり住宅を建てたりして住むなど若者の地域離れが進み、高齢者だけの家や空家となった家が増えている。
- ④農業の後継者不足と野菜など大規模生産地からの輸送などに押され、作物を作っても出荷が難しく

耕作放棄地も増えてきている。里山・竹林は手入れがされずに荒れ放題のところも多い。

(2) 交通・安全

① 県道やグリーンロード・23号線バイパスなどが通っていることで、年々交通量が増え、子どもたちが登下校で交通事故に遭わないか心配。専用の歩道設置が急務だと考える。

(3) 災害対策

① 小村地区や川原木造地区は、I級河川「雲出川」の近く、もしくは、地盤が低いところであり須賀・川北地区は、南海トラフ地震の時の津波が心配。近くに高い建物の避難所もない。

II 豊田地区の将来像

1 将来像の考え方

(1) 地理的環境

① 豊田地区は伊勢平野の中央に位置し、田園風景が広がり自然豊かな地域。

交通の便も良く、若者世代の定住が望まれる。また、昔ながらの美しい榎垣が残る集落や、嬉野地域振興局・生涯学習センター・ふるさと会館など行政の中心的建物が集中している地域でもある。公共施設を積極的に活用し、文化あふれるまちづくりを考えていく。

② 嬉野グラウンド・嬉野体育センター、嬉野図書館などスポーツ・文化施設も集中している。

スポーツ施設を積極的に活用した行事などを計画し、住民が健康で生活できる町づくりを目指していく。

③ 豊田地区の西端をJR東海名松線、中央を近畿日本鉄道宇治山田線が走り、近鉄伊勢中川駅・中原駅 JR権現前駅からは松阪駅までも近い。地の利を生かして若者の定住と高齢者のつながりを進めた福祉充実を考えたまちづくりをしていく。

④ 豊田地区南側にはグリーンロードが走り、国道23号線や中勢バイパスにもつながっている。

交通の要所でもあり、地域の特産物や、遺跡文化などを市内外に発信をして、沢山の人が訪れるまちづくりをしていく。

⑤ 公民館講座やサークル活動を充実させる。

(2) 人口・産業

① 若い世代が定住できる環境作り

- ・ 地区の産業を興す
- ・ 農業の復興

(3) 防災・安全

① 交通安全

- ・ 地域での子ども見守り隊の結成
- ・ 児童生徒の登下校を安全なものにするサポートづくり。

② 災害対策

- ・防災マップの作成
- ・地区避難訓練の実施
- ・災害時要援護者対策
- ・災害ボランティアの養成

(4)福祉・環境

個人情報大切にしつつ、地区の心身障害者や、独居老人を把握し、みんなで助け合う気持ちを持ち、接することの大切さを心がける。

Ⅲ 地域のめざす姿

(1)地域の発展と情報が伝達できるまち(地域振興分野)

- ①イベントや地域での出来事などを知らせ、地域の中で風通しの良いまちづくりをする。
「くすのき通信」を年3回から4回に発行する。

時代の変化に対応した、人材の育成と確保のため、組織や事業等のあり方を見直す。

(2)高齢者が健康で愉しく過ごせるまち(福祉環境分野)

- ①高齢者等の集える場の確保と、健康作りを推進し、笑い声の絶えないまちづくりをする。
- ②豊かな自然や景観の保全、ゴミの減量を推進し、美しいまちづくりをする。

(3)体を動かし健康作りと地域の絆づくりをする。(体育振興分野)

- ①地区民運動会を実施し、地区民の健康作りを図る。
- ②体を動かし、コミュニケーションを高め、地域の絆づくりをする。

(4)安全安心な地域防災活動のできるまち(防災安全分野)

- ①子どもたちや高齢者をはじめ、地域みんなで協力して犯罪や交通事故の無いまちづくりを目指す。
- ②いつ発生してもおかしくない地震の被害や、風水害の被害を最小限に止めるため、地域住民が力を合わせて、安心安全なまちづくりをめざす。

(5)世代間を越えた交流・連携ができるまち(文化教育分野)

- ①生涯教育を推進して、世代を超えた交流を生み出し、コミュニケーションの活発なまちづくりをする。

(6)元気一杯のまちづくり(地域サポート分野)

- ①まちづくり役員の経験を生かして、地域の活動を支え、推進していく。

Ⅳ 豊田住民自治協議会 設立に向けて試行

令和3年度「住民自治協議会」施行に向けて 豊田まちづくり協議会の組織図に豊田住民自治協議会 設立準備会を設置し、目的として自治会部会、公民館部会設置に関すること及び豊田まちづくり協議会の対外交渉等を担当する。設立準備会の役員として会長 水谷勝美、事務局長 中西勲を置く。

IV まちづくりの具体計画

■分野別の地域計画

(1) 活気あふれるまちづくり (実施主体 地域振興部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 人材の育成・確保	組織や事業等を見直すと共に、各部会が実施する事業等を通して地域づくりの新しいリーダーの発掘や育成を行なう。	自主	長期	2020 (継続)	アドバイザーの活用
2 広報誌の発行	イベント情報・地域の出来事等を広報誌を通して、住民に周知する。	自主	長期	2020 (継続)	4回/年
3 防犯灯・掲示板設置事業	イベント等の情報を掲示する掲示板を設置する。	自主	長期	2020 (継続)	適宜
4 地域の絆を深める	8月(山の日)に、豊田小学校運動場で夏祭りを行う。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年
5 嬉野物産展への参加	嬉野文化祭の物産展に出店する。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年
6 地域計画の策定	計画の進捗状況の確認と課題解決、次年度計画の策定	自主	長期	2020 (継続)	適宜
7 安全の呼びかけ	地域全体の安全の呼びかけ	自主	長期	2020 (継続)	適宜

(2) 心のふれあうまちづくり (実施主体 福祉環境部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 世代間交流会	地域の住民が、世代を超えて交流する。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年
2 敬老事業	地域の高齢者を敬い、健康な生活を応援する。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年
3 高齢者支援事業	地域の民生・児童委員と連携し、高齢者の生活改善や元気づくり事業を行う。近所の互助関係を深める。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年
4 挨拶運動の推進	地域ぐるみでの青少年育成事業の推進。『オアシス運動』の看板を地区集会所等に設置する。	自主	長期	2020 (継続)	適宜

(3) 健康あふれるまちづくり (実施主体 体育振興部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 体力づくり事業	地域の住民が地区民運動会を通して、体力づくりをする。地域の親睦を深める。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年
2 健康づくり事業	幼児から高齢者までの地域住民が市営グラウンドにおいてグラウンドゴルフを行い、地域交流と健康作りを推進する。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年
3 健康講演会事業	地域の住民が健康についての講演を聴き、自分の健康について考える一助とする。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年

(4) 安全・安心のまちづくり (実施主体 防災安全部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 防災訓練事業	幼児から高齢者まで、すべての地域住民が防災訓練に参加をし、日常的に防災に対する意識を高める。今年度より豊田小学校体育館における避難所開設訓練を開始する。	自主	長期	2020 (継続)	1回/年
2 子ども見守り事業	児童生徒の登下校時にパトロールを行う。交差点では安全指導を行う。	自主	長期	2020 (継続)	3回/年
3 防災・防犯の徹底	防災・防犯の啓発活動を推進する	自主	長期	2020 (継続)	適宜
4 交通事故撲滅運動の継続	高齢者・幼児・児童・生徒の安全確保につとめる。	自主	長期	2020 (継続)	適宜

(5) 生きがいあふれるまちづくり (実施主体 文化教育部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 文化祭事業	地域の住民が公民館に集まり、文化祭(作品展示・うどん販売・野菜の即売など)のいろいろなイベントを通して、絆づくりをする。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年
2 公民館事業の啓蒙活動	公民館活動の啓蒙と活動への助成	自主	長期	2020 (継続)	適宜
3 公民館保健	公民館活動の保険助成	自主	長期	2020 (継続)	通年
4 地域の文化財の発掘	地域に残る文化財を調査し、公民館だより等で紹介をする。	自主	長期	2020 (継続)	1回/年
5 地域の高齢者と園児との交流会	地域の高齢者と園児との交流。	自主	短期	2020 (継続)	1回/年

(6) 元気一杯のまちづくり (実施主体 地域サポート部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 地域交流事業	農産物の販売や、イベントの企画実施によって地域の活性化を図る	自主	長期	2020 (継続)	適宜

V 個別事業計画

個別事業実施計画（1）

2	施策名	広報誌発行			参考書類	
	内容	イベント・地域の出来事など、広報紙で地域住民に周知する。				
現状と目的・課題		イベント・地域の出来事など、広報紙で周知は出来ていると思われる。広報担当委員を配置し、年4回の広報発行を目指しているが、発行月の前月初めに編集会議、中頃に校正、下旬に印刷と広報担当委員の負担が大きい。				
具体的な解決策		編集会議を1回に、校正はメールで済ます。				
事業の詳細説明		各事業のイベントや新しい取り組みを、広報によって地域住民に知らせる。				
年次計画	30年度	2019年度	2020年度			
	◎	◎	◎			
概算予算 (交付金充当額)	25,000	25,000	25,000			
	20,000	20,000	20,000			
参考事項						

3	施策名	防犯灯・掲示板補助			参考書類	
	内容	防犯灯・掲示板の設置				
現状と目的・課題		豊田地区内における防犯灯のLED化の推進を図る。				
具体的な解決策		LEDへの変更				
事業の詳細説明		防犯灯のLED化				
年次計画	30年度	2019年度	2020年度			
	◎	◎	◎			
概算予算 (交付金充当額)	350,000	350,000	300,000			
	150,000	150,000	250,000			
参考事項						

V 個別事業計画

個別事業実施計画（1）

4	施策名	夏まつり				参考書類	
	内容	夏まつりの企画・運営					
現状と目的・課題		地域間のつながりが少なくなり、地区内でも老若男女のつながりが薄れている。地域の人々が力を合わせて、一つの行事を作り上げていく喜びを共感し合えるようにする。今年は新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれる。					
具体的な解決策		例年、音楽発表・行灯コンテスト・バザーや花火大会をして夏祭りが盛りあがっているが、今年は縮小することになるか。					
事業の詳細説明		例として星空コンサート・行灯コンテスト・バザーや花火大会、盆踊りなど。					
年次計画	30年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
	◎	◎	◎				
概算予算 (交付金充当額)	350,000	350,000	350,000				
	150,000	200,000	100,000				
参考事項							

5	施策名	地域活動				参考書類	
	内容	戦没者追悼式					
現状と目的・課題		昨年から地域活動は戦没者追悼式を実施。					
具体的な解決策		参列者を少なくして実施。					
事業の詳細説明		戦没者追悼式を実施。					
年次計画	30年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
	◎	◎	◎				
概算予算 (交付金充当額)	90,000	200,000	50,000				
	0	0	0	0	0		
参考事項							

V 個別事業計画

個別事業実施計画 (2)

6	施策名	世代間交流会			参考書類	
	内容	地域の住民がグラウンドゴルフを通して、健康作りをする。				
現状と目的・課題		少子化や核家族化により、異なる年代間の交流機会も少なくなっている。小学生もクラブや塾で忙しいせいか、参加者が年々減少している。				
具体的な解決策		年代の異なる地域住民がグラウンドゴルフを通して交流する。				
事業の詳細説明		少人数のチームでゲームを行なう。				
年次計画	30年度	2019年度	2020年度			
	◎	◎	◎			
概算予算		60,000	60,000	60,000		
(交付金充当額)		60,000	60,000	60,000		
参考事項						

7	施策名	敬老事業			参考書類	
	内容	地域の敬老者をお祝いする。				
現状と目的・課題		地域の80歳以上の高齢者に長寿を祝い、商品券を配布している。年々対象者が増加し経費も膨らんでいる。				
具体的な解決策		商品券の配布は地域敬老事業推進経費として1/2しか認められないので、商品の配布に変えていくことを検討する。				
事業の詳細説明		部会で詳細を検討。				
年次計画	30年度	2019年度	2020年度			
	◎	◎	◎			
概算予算		340,000	360,000	360,000		
(交付金充当額)		170,000	180,000	180,000		
参考事項						

個別事業実施計画 (2)

8	施策名	高齢者支援事業			参考書類	
	内容	地域の民生・児童委員と連携し、高齢者の生活改善や元気づくり事業を行う。				
現状と目的・課題		各地区とも、核家族化が進行している。若者世代は、松阪市や津市の中心地でマンションやアパートを借りての生活が多い。年老いた両親が生活しているところが、年々増えてきている。65歳以上の一人暮らしも増加している。				
具体的な解決策		高齢者支援事業での見守り				
事業の詳細説明		敬老事業として、生活用品の配布を継続する。				
年次計画		30年度	2019年度	2020年度		
		◎	◎	◎		
概算予算 (交付金充当額)		49,000	50,000	50,000		
		49,000	41,000	41,000		
参考事項						

V 個別事業計画

個別事業実施計画 (3)

9	施策名	豊田小・地区民運動会			
	内容	地域の住民が地区民運動会を通して、体力づくりをする。			
現状と目的・課題		豊田小学校と共催で地区運動会を実施する計画だったが、新型コロナウイルスの影響により、実施を検討中。			
具体的な解決策		地域の人たちが集まり運動会をすることで、地域の絆を深め運動不足の解消に努める。世代間の交流も深める。新型コロナウイルスの影響に留意している。			
事業の詳細説明		園児・児童・生徒・成人・高齢者が一緒に運動できる種目を考え、地区民運動会を運営する。			
年次計画		30年度	2019年度	2020年度	
		◎	◎	◎	
概算予算 (交付金充当額)		300,000	300,000	300,000	
		150,000	150,000	150,000	
参考事項					

V 個別事業計画

個別事業実施計画 (4)

10	施策名	地区防災訓練			
	内容	幼児からお年寄りまで、すべての地域住民が防災訓練に参加をし、日常的に防災に対する意識を高める。			
現状と目的・課題		近い将来に起こるであろう東南海地震を想定した、地区防災訓練を実施しているものの、大地震や津波に対する防災意識はまだまだ十分でない。			
具体的な解決策		住民の防災意識を高める。非常災害に対して、救急体制を確立していく。			
事業の詳細説明		地区防災訓練を実施し、避難所開設訓練を経験していく。日頃から、災害時の避難場所などを確認し合う。			
年次計画		30年度	2019年度	2020年度	
		◎	◎	◎	
概算予算 (交付金充当額)		100,000	300,000	300,000	
		70,000	200,000	200,000	
参考事項					

V 個別事業計画

個別事業実施計画 (5)

11	施策名	公民館活動			
	内容	地域の住民が公民館活動について知識や興味を持つ。			
現状と目的・課題		地域の現状について、住民の方はよく理解していると思われるが、他の地域(県外も含め)の文化・歴史・産業などについて知識を得ることも必要と思われる。			
具体的な解決策		他の地域の現状を知ることにより、自分たちの地域の現状と比較してより深く理解ができる。			
事業の詳細説明		他の地域の現状を知ることにより、自分たちの地域の現状と比較してより深く理解するために講師の招請、現地視察などを実施する。			
年次計画		30年度	2019年度	2020年度	
		◎	◎	◎	
概算予算 (交付金充当額)		210,000	260,000	260,000	
		150,000	150,000	150,000	
参考事項					

12	施策名	文化祭			
	内容	地域の住民が公民館に集まり、文化祭(作品展示・うどん販売・野菜の即売など)いろいろなイベントを通して、絆づくりをする。			
現状と目的・課題		毎年、11月の日曜日に豊田公民館で文化祭を実施している。たくさんの地区民から作品を出してもらっている。住民の絆づくりを深めている。作品の提出者は固定化しつつある。			
具体的な解決策		地区で作品を出してもらえる人をより広く募集していく。文化祭への参加者を増やすイベントも考えて行く。中学生や高校生にも興味のある文化祭を考える。			
事業の詳細説明		中学生の作品も多数掲示をする。子どもが興味を持つ遊びも取り入れていく。			
年次計画		30年度	2019年度	2020年度	
		◎	◎	◎	
概算予算 (交付金充当額)		300,000	350,000	350,000	
		192,000	200,000	212,000	
参考事項					

V 個別事業計画

個別事業実施計画 (5)

13	施策名	地域の高齢者と園児との交流会			参考書類	
	内容	地域の高齢者と園児との交流				
現状と目的・課題		祖父母が同居していない家庭が増え、子どもと高齢者のふれあいがなくなってきている。				
具体的な解決策		地域の高齢者と園児との交流において、地域の高齢者から昔話や昔の遊びなどを知ることにより子どもの知識の向上と高齢者の心の若返りを試みる。				
事業の詳細説明		部会で詳細を検討。				
年次計画		30年度	2019年度	2020年度		
		◎	◎	◎		
概算予算 (交付金充当額)		60,000	60,000	60,000		
		60,000	60,000	60,000		
参考事項						

V 個別事業計画

個別事業実施計画 (6)

14	施策名	地域交流支援事業			参考書類	
	内容	農産物の販売や、イベントの企画実施によって地域の活性化を図る				
現状と目的・課題		嬉野文化祭や豊田地区文化祭での農産物の販売が主となっている。				
具体的な解決策		まちづくり協議会役員経験者に地域交流を担う地区推進員を依頼し、活躍していただく。				
事業の詳細説明		農産物の生産と販売、地域行事の企画運営				
年次計画		30年度	2019年度	2020年度		
		◎	◎	◎		
概算予算 (交付金充当額)		90,000	150,000	150,000		
		0	0	0		
参考事項						